岩手大学人文社会科学部同窓会
令和2年2月28日発行
第49号

七友会だより

「三陸海岸の夜明け」田野畑村

INDEX

学部長ご挨拶…… 2
岩手大学創立70周年記念事業 …… 3
ご退任の先生方ご挨拶…… 4
七友会主催　進路選択セミナーを開催… 5
評議員会報告・2018年度事業報告 …… 6
2018年度会計決算報告 …… 7
2019度事業計画・会計予算 …… 8
七友会設立40周年記念同窓会 …… 9
お知らせ……10

これからの予定

2020年3月23日（月）	卒業式
4月7日（火）	入学式
6月下旬	2020年度評議員会開催
9月19日（土）	第13回卒業生・修了生と学長との懇談会（札幌市）
2021年7月3日（土）	七友会設立40周年記念同窓会（予定）

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

〔連絡先〕020-8550　盛岡市上田3-18-34
岩手大学　人文社会科学部内「七友会」宛
電話：019-621-6701 FAX：019-621-6715

ホームページもご覧ください!
http://www.shichiyukai.net/

岩大　七友会　検索

ご挨拶

これからの時代に必須のこと

人文社会科学部
学部長　山本　昭彦
（平成31年4月1日就任）

いつも学部の応援ありがとうございます。七友会の皆様の結束の固さをうらやましく拝見しています。新米の学部長ですがよろしくお願い致します。30年以上前に盛岡に来ましたが、その頃の卒業生達は今も毎年集まっているようです。昨年も連絡をもらい、久しぶりに大勢の顔を盛岡で見ることが出来ました。中には大病を乗り越えつつある者もあり、北海道からも東京からもやって来た懐かしい顔ぶれと、まずは上田で飲むことが出来ました。

大学を取り巻く環境も厳しく、どうも景気のいい話があまりないと思う私に反し、卒業生は元気にやっていましたし、普段教室で顔を合わせる現役の学生たちはもっと元気です。この若い力を遠慮なく、もっともっと発揮出来るような環境を整えてゆくことが我々の仕事なのかもしれません。

昨秋、岩手大学では創立70周年を記念して講演会をはじめいくつもの行事が行なわれました。七友会の皆様にも種々御協力頂き、ありがとうございました。この機会に留学生による同窓会も結成されました。盛岡に学びに来て、その後それぞれの国に戻りそれぞれの仕事をしている人たちが、一堂に会しました。岩手大学もこれまでアジア各地での大学フェアなどにも参加して留学生を募ってきましたが、様々な形で集まって来た人たちがさらに時を経て顔を合わせる機会が出来、これまでの長い活動が目に見える形になってきた感じです。

留学生同窓会は現在７つの支部（中国（上海、長春、西安）、タイ、モンゴル、マレーシア、東京）があります。韓国やインドネシアからの留学生も少なくないのですが、残念ながら支部はまだありません。盛岡は申請中とのことです。

人社学部への留学生は数はあまり多くはありませんが、中国やロシアへ帰国後それぞれに活躍している様子は時折聞こえてきます。これらの人々も今後参加出来るようになればすばらしいことだと思います。

私も盛岡に来る前に留学を経験しています。学生寮も経験し、良い思い出を今も持っています。留学先はフランスでしたが、そこで知り合ったのはフランス人だけではなく、ギリシア、イタリア、スペイン、ドイツ、シリア、レバノン、マダガスカル、マリ、ダカールなどなどから来た人たちでした。人と人とのつながりは面白いものです。いろいろな考え方に触れたり、いろいろな視点に気づいたり。留学後もしばらくは、日本に旅行してくる友人もいたりして、小さな「同窓会」を開いていました。

30年前に較べてみると、国を越えた行き来は自然な、当たり前なことになっているように思いますし、思いがけないところで異文化に巡り会うことも皆様も実感していらっしゃることでしょう。今の学生たちにも、もっともっと様々な文化に接する機会を持ってもらうことがこれからの時代には必須のことかなと思います。今後、人社同窓会と留学生同窓会の交流などが可能になれば、さらにいろいろな面が見えてくるように思い、楽しみにしています。

岩手大学創立70周年記念事業

岩手大学創立70周年 記念式典・記念講演会を挙行

新制国立大学として70周年の節目の年を迎えた、国立大学法人岩手大学は、昨年10月19日に、記念式典を開催しました。会場には卒業生を中心に600名が出席しました。席上あいさつに立った岩渕明学長は「世界的な視野に立って（グローバル）地域（ローカル）で行動する『グローカル』な人材の育成に岩手大学は尽くしてきたことを述べ、今後も地域貢献を旨とすることを強く訴えました。

またこの日は、岩手大学教育学部を卒業し、「おらおらでひとりいぐも」で芥川賞を受賞した若竹千佐子さんが「おらはおらにしたがう～自己決定権を持つ生き方～」と題して講演。「自分の幸せは自分で決める。他人にどうこう言わせる必要はない。」と語ったうえで、日本人の「和を以て貴しとなす」という言葉は、強いものに従えということだと述べ、自分の考えは男女を問わず主張すべきだと述べました。また人文社会科学部を中心に行っている東日本大震災被災地への訪問活動は「先ほどテレビ局のインタビューでそのことを知り、岩手大学の卒業生として誇りに思った。」と笑顔を浮かべました。

岩渕明学長のご挨拶

若竹千佐子さんによる講演

また70周年記念事業の締めくくりとして、同窓会連合から大学に、学生歌や大学のシンボルとなっている桐の木３本が寄贈され、12月10日に４学部の同窓会長が出席して記念植樹が行われました。この後の岩渕学長や小川智次期学長と４学部同窓会長との懇談会で、国からの経費削減が求められている厳しい実情の中で、同窓会は大学の強力な応援団としてこれまで以上に活発な活動を行っていくことを訴えました。

卒業生･修了生と学長との懇談会

遠藤会長挨拶

岩手大学創立70周年記念記録誌を発行

～70周年記念誌は「大学の歴史」ではなく「震災復興にどう向き合ってきたか」～

岩手大学は70周年を記念する記録誌を発行しました。この記念誌は従来のように大学の歴史をつづるものではなく、発生から８年余りが経過した東日本大震災の復旧、復興に岩手大学がどう関わり取り組んできたか。また反省点はないか包み隠さず記録しています。編集委員長の人文社会科学部後藤尚人教授は「２年にわたる編集作業を通して、総合大学としての岩手大学の活動の幅の大きさを感じました。」と話しています。人文社会科学部は、住民の心や街づくりへの支援などを行い、理工学部は被災地への調査、農学部は水産研究センターを通して漁業の復興。教育学部は子供への支援など、震災復興のあらゆる分野に岩手大学が関わっています。300ページ余りにおよぶ記念誌は２部構成になっていて、１部は2011年３月の発生当時からこれまでの歩み、２部は地元大学としての使命を問い直しています。執筆したのは大学の研究者だけではなく各界で活躍する卒業生も含まれ、研究機関・教育機関としての岩手大学が地域に果たしている役割の大きさを改めて感じるものとなっています。記念誌を発行した今、後藤教授は「この記念誌で岩手大学が震災復興に果たした役割や課題を示すことができました。震災復興への関わりはこれで終わりではなく、むしろ新たな出発点とすべきです。」と話していました。

震災や豪雨災害など想定外の大災害が相次ぐ中、この記念誌が今後の減災に活かされることを祈念します。

－岩手大学創立70周年記念記録誌が販売されています－

『東日本大震災で大学はどう動いたか１：地震発生から現在までの記録』

『東日本大震災で大学はどう動いたか２：復興支援と研究・教育の取り組み』

古今書院（2019年刊、各3,740円）

ご退任の先生方ご挨拶　～定年退職を迎えて～

人間文化課程　教授　齋藤　博次

2020年３月末日をもって退職することになった。1985年４月に岩手大学に赴任して以来34年間、大学の研究者・教育者として過ごしてきたことになる。誰もが口にすることだが、長いようで短い年月だった。

赴任してから暫くの間は、大学とは大変良い所だと思っていた。給料のことはさておき、たくさん自由な時間があって、好きな研究を進めることができた。やりたい授業を好き放題やってきた。法人化以降はにわかに忙しくなったが、それでも、誰からも文句を言われることもなく、好きなことをやらせてもらったので、満足のいく人生を歩むことができた。同僚の先生方や事務の方々にも恵まれ、大変お世話になった。この場を借りてお礼申し上げたい。

４月以降は非常勤講師として、また嘱託教員として、引き続き、教養教育の英語の授業や専門のアメリカ文学・文化関係の講義を受け持つことになる。授業以外にやることはなくなるので、少しは余裕のある生活ができることを期待している。授業以外の時間を使って具体的に何をやるのかは、まだ決めていない。

環境科学課程と私

地域政策課程　教授　開　　龍美

私は、平成12年度の学部改組により新設された環境科学課程に、環境文化論の担当教員として着任し20年、この度なんとか定年退職を迎えることになりました。その間、国立大学の独法化をはじめ、外から“改革”の波が繰り返し人文会科学部に押し寄せましたが、そのような局面における私の矜持のよりどころは、文理融合を理念とする環境科学課程の新たな教育研究にあったと確信しております。平成28年度の学部改組により環境科学課程が廃止となり、平成31（令和元）年３月に最後の学年を送り出したところで、環境科学課程19年間の歴史とともに、自分自身にも１つの区切りができたと感じているところです。

東京から赴任するときには、期待だけでなく、冬の厳しさをはじめ盛岡での生活には多々不安がありました。しかし環境科学という学際分野に新たに取り組んでいるという同僚の先生方の意気込みと親身のご指導、さらには学生諸君の若き活力にも励まされ、教育と研究に注力することができました。ここに改めて皆様に心より感謝申し上げる次第です。

人間文化課程（旧人間科学課程）・行動科学

教授　山口　　浩

今年度一杯で36年間お世話になった岩手大学を定年退職いたします。思い起こせば、昭和59年（1984年）４月に岩手大学保健管理センター・学生相談室・専任カウンセラーとして採用いただきました。9年間学生相談に携わったところですが、その間、教養課程科目として心理学（精神衛生）を、学部科目として行動科学基礎実験の個別実験を担当させて頂きました。そして平成５年（1993年）に鬼沢貞先生の後を受け継ぎ、実験心理学担当として行動科学の方へ配置換えとなりました。臨床心理学から基礎心理学担当へ移ることになったのですが、基礎と臨床をつなぐところでお役に立てればと思ったところでした。その後、平成17年に人文社会科学研究科の下で臨床心理士養成領域を立ち上げるにあたり、実験・臨床心理学研究室と名称変更し、以来今日に至ります。基礎と臨床をつなぐスタンスは、学問の総合性を目指すことになるので、人文社会科学部の学問の「総合化」と「専門深化」の理念と一致し、また毎年そのスタンスをどんどん身につけて行く多くの学生さんとの出会いにびっくりしてきました。そして今、実社会で活躍し頑張っておられる多くの本学部卒業生の方々を知っています。本当に、私はこの学部でお世話になったことを嬉しく、そして誇りに思っています。ありがとうございました。

人間文化課程　教授　髙橋　宏一

あっという間に人社学部での約40年が過ぎさり、大学を取り巻く環境も日本社会も大きくよがわりしようとしている今、世の中の変化にうとい私が、長年いた大学を出て娑婆で何を行なうか自分でも分からず、どうなりますことやら。みかえしてみますと、地域基礎では皆様とかおなじみになり、行動科学では一緒に勉学にはげみ、楽しい時を過ごすことができました。こんな私に対して、どちらの講座・コースでも、きさくにあたたかく接していただき、この度足でまといながら勤めを終えることになりました。

七友会主催　進路選択セミナーを開催

～講師　佐藤曜子さん（岩手銀行）、高橋直也さん（岩手県庁）～

2019年度の進路選択セミナーが2019年６月21日に開催されました。講師は岩手銀行の佐藤曜子さん（2011年人間科学課程卒）と岩手県庁に勤める高橋直也さん（2014年法学・経済課程卒）の二人でした。

岩手銀行にチャレンジするまでの経過を中心に語ってくれた佐藤さんは、まず就活か公務員試験にするか選択を迫られ、試験勉強が苦手ということで民間企業への就職を決断したと控えめに語りました。しかし佐藤さんはマスコミでも大きく取り上げられた、さんさ踊りや笑顔で盛岡を元気にしようという「笑顔の街角プロジェクト」を立ち上げるなど独自の企画力を磨いていました。佐藤さんは民間企業を選択したものの、あまりにも積極的に多くの企業にエントリーシートを提出しすぎて、方向性を見失い就活に行き詰まります。そこでいったん、企業研究を中断して、すべてをリセットして一から自分のやりたいことを見つめなおしました。そして①人の生活に根付いた仕事②人と出会える仕事③地域貢献できること④岩手で働く確率が高いことなどの理由で岩手銀行への挑戦を決め、就職を果たしました。まず配属されたのは北上支店。総勢60人が働く最も大規模な支店です。ここで佐藤さんは窓口や融資、資産運用など幅広い業務を習得します。当時の支店長は七友会の稲垣副会長。佐藤さんの才能に期待した稲垣副会長は自ら佐藤さんを育てていきたいと願っていましたが、有能であるがゆえに本店に異動を命じられ、コンサルティング業務や共感力、コミュニケーション能力が試されるレベルアップした仕事に取り組んでいます。佐藤さんは「私たちは就職氷河期の時に就活をしましたが、じっくり自分と向き合い様々な人と出会って多くのことを吸収できました。」と締めくくりました。

続いて登壇した高橋直也さん。高橋さんは、民間企業は眼中になく、初めから公務員試験への挑戦を決めていました。学生時代の県庁職員のイメージは①楽②クビにならない③横柄で怠け者ということでした。こうした県庁を「変えてやろう！」と思ったのが県庁職員を目指そうと思った理由です。しかし実際県庁に入ってみると、県職員の仕事は決して楽ではなく、高橋さんが帰宅するのはいつも終電で、帰って寝るのは12時、時には日をまたぐこともあり、出勤は朝６時。しかもそれは高橋さんだけではなく、そんな人が多いそうです。また市町村や国は住民や国家全体の仕事というはっきりした業務区分があるが、県は中途半端で将来業務が縮小されクビにならないとも限らないと語ります。また横柄で怠け者の人などあまりいないということで、高橋さんの県職員へのイメージは一変します。しかし「岩手を変えたい！」という学生時代からの思いは変わらず、現在広聴広報課で県政番組「いわて！わんこ広報室」の制作に関わりテレビ局のプロデューサーやディレクターのような仕事をしています。高橋さんは公務員を目指す学生に向けて、情報収集や勉強をすることの大切さ。さらに面接のときに武器となるものを身に着けることの大切さを訴えました。特に面接については、部活やバイト、ゼミのことなどは誰でも話すので、自分ならではの経験。高橋さんの場合は、ペットボトルのキャップを集めてエコに貢献する集まりのリーダーを務めた経験を語り、地域への貢献やグループをまとめる指導力をアピールしたそうです。

二人の話に対して、学生からは「自分と向き合うことの大切さを知った。」「世の中の状況は変わっているので、絶対安定した仕事などない。ということを強く感じた。」などの感想が寄せられました。

評議員会報告

評議員会の様子

2019年度の評議員会は、2019年６月22日（土)13時から盛岡市の岩手県公会堂で開催されました。会長挨拶後議事に入り、2018年度事業報告、会計決算報告および会計監査報告が行われ、いずれも了承されました。次に2019年度の事業計画、会計予算について話し合われ、前年度に引き続き「進路選択セミナー」の開催等を中心に活動することなどを決議しました。また、2021年３月に同窓会設立40周年を迎えることから、記念行事の開催等の検討を始めることとしました。

2018年度事業報告

1．2018年度は、「進路選択セミナー」の開催中心の活動となりました。
2．「進路選択セミナー」は、学部就職委員会と共催して２回（2018年６月、2019年２月）開催しました。６月の参加者は40人ほどでしたが、２月は学部就職委員会のバックアップもあり、ＯＢ含め60人ほどが集まり、活発な質疑応答が行われました。
3．会報「七友会だより」は２回（2018年９月、2019年３月）発行しました。

2018度のおもな活動は次のとおりです。

2018年４月６日（金）　岩手大学入学式（会場：岩手県民会館大ホール　佐原会長出席）
　　新入生保護者懇談会（会場：人文社会科学部　佐原会長出席）
６月20日（水）　岩手大学同窓会連合会第19回理事会（会場：岩手大学事務局会議室）
　　議題１：平成29年度事業報告（案）について
　　議題２：平成29年度決算（案）について
　　議題３：平成30年度事業計画（案）について
　　議題４：平成30年度予算（案）について
　　その他（佐原会長、鈴木護幹事　出席）
６月22日（金）　「進路選択セミナー（第10回）」（会場：岩手大学人文社会科学部）
　　会員10名、学生約30名
　　講師：畑中ちづる氏（2012年卒）、西山千晶氏（2015年卒）
６月23日（土）　平成30年度評議員会（会場：岩手県公会堂15号室）
　　議題１：平成29年度事業報告、会計決算報告
　　議題２：平成30年度事業計画（案）、会計予算（案）
　　議題３：役員改選について
７月28日（土）　第11回卒業生・修了生と学長との懇談会（会場：東京ガーデンパレス）
　　会員11名参加
８月24日（金）　七友会盛岡市役所支部設立（会場：エスポワールいわて）
　　遠藤会長出席、会員95名参加
９月１日（土）　会報「七友会だより」第47号発行・会員へ順次発送
2019年２月８日（金）　「進路選択セミナー（第11回）」（会場：岩手大学人文社会科学部）
　　会員10名、学生約50名
　　講師：村井聡氏（2003年卒）、大友遥氏（2017年卒）
３月22日（金）　会報「七友会だより」第48号発行・会員へ順次発送
３月22日（金）　岩手大学修了式、卒業式（会場：岩手県民会館）
　　人文社会科学部卒業生・修了生送別祝賀会（会場：中央学生食堂）　遠藤会長出席
　　卒業・修了後の住所届の提出依頼と回収（各コース毎）

以　上

2018年度　岩手大学人文社会科学部同窓会　会計決算報告

一　般　会　計

＜収入の部＞　（単位　円）

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　要
会費	4,000,000	4,120,000	120,000	206名
前年度繰越金	1,183,046	1,183,046	-	
特別会計より繰入	-	-	-	
雑収入	29	27	-2	27（利息）
合計	5,183,075	5,303,073	119,998	

＜支出の部＞

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　要
1．事業費	4,150,000	3,849,446	300,554	
1）会報発行	2,200,000	2,330,163	-130,163	平成30年９月、平成31年３月の２回発行
ア．印刷費	1,150,000	1,320,025	-170,025	
イ．郵送費	1,050,000	1,010,138	39,862	
2）会員活動援助費	600,000	362,770	237,230	進路選択セミナー出席者等の旅費補助
3）卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	-	39期分積立
4）支部援助費	150,000	30,939	119,061	一期会通信費
5）文化事業補助	250,000	202,000	48,000	進路選択セミナー出席者宿泊費等の補助
6）寄附金	500,000	500,000	-	学部への寄付
7）同窓会連合負担金	300,000	300,000	-	同窓会連合会費
8）諸費	50,000	23,574	26,426	高塚元学部長、弔電・香典代等
2．会議費	600,000	391,832	208,168	
1）評議員会会議費	500,000	391,832	108,168	出席者旅費
2）諸会議費	100,000	0	100,000	
3．事務費	250,000	114,240	135,760	事務用品、データ管理・HP維持管理費等
4．特別積立金	-	-	-	
5．雑費	100,000	100,000	-	事務謝金
6．学部設立40周年記念積立	-	-	-	
7．同窓会設立40周年記念積立	-	-	-	
8．予備費	83,075	0	83,075	
合計	5,183,075	4,455,518	727,557	

差引残高　847,555 円は、2019年度に繰越いたします。

特　別　会　計

＜収入の部＞　（単位　円）

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　要
前年度繰越金	42,586,807	42,586,807	-	
新規積立金	100,000	100,000	-	卒業記念品贈呈費
利息	3,604	3,613	9	2,294+350+628+341
合計	42,690,411	42,690,420	9	

＜支出の部＞

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　要
1．一般会計へ繰出	-	-	-	
2．積立金	42,690,411	42,690,420	9	年度末積立金額＝翌年度繰越金額
1）特別積立金	27,093,995	27,093,995	-	27,091,701(前年度決算)+2,294(利息)
2）卒業記念積立	4,174,276	4,174,285	9	4,073,935+350+100,000(新規積立)
3）学部設立40周年記念積立	7,401,077	7,401,077	-	7,400,449+628(利息)
4）同窓会設立40周年記念積立	4,021,063	4,021,063	-	4,020,722+341(利息)
合計	42,690,411	42,690,420	9	

会計監査報告

平成30年度の決算について監査を行い、正しく処理されていることを確認いたしました。

2019年年６月22日

監査員　小桧山　　修　㊞
工　藤　康　身　㊞

2019年度事業計画

1．2019年度は、昨年度に引き続き「進路選択セミナー」の開催を中心に活動しますが、学部就職委員会教授とも協議の結果、これまで年２回開催してきたものを、学生のニーズに応えて６月１回の開催とすることとします。
2．会報「七友会だより」については、年間予算に鑑み経費が嵩むことも踏まえ、年１回の発行とし内容の充実を図ります。
3．会員名簿の充実と事務機能の強化を図る必要があることから、事務担当者の採用等その方策を検討します。
4．年間予算の収入と支出の均衡を図る観点から、事業費および会議費における旅費の補助について見直しを検討したいと考えます。
5．会計担当者については、昨年度稲垣副会長が担当してきましたが、新たに中野玲子理事を担当者として加えることとします。
6．サイボウズの活用、七友会ホームページ等コミュニケーションツールに係る今後の活用方法については、ホームページを公式ページとして維持すべきとの意見が出され、コミュニケーションツールについても後継ツールを検討することとしました。
7．2021年３月に同窓会設立40周年を迎えることから、記念行事の開催について実行委員会を組織するなどの検討を開始することとしました。実行委員長は、遠藤会長としメンバーは委員長に一任することとしました。

2019年度　岩手大学人文社会科学部同窓会　会計予算

一般会計

<収入の部>　（単位　円）

項目	予算額	前年度予算額	摘要
会費	3,920,000	4,000,000	入学生196名
前年度繰越金	847,555	1,183,046	
特別会計より繰入	-	-	
雑収入	25	29	利息
合計	4,767,580	5,183,075	

<支出の部>

項目	予算額	前年度予算額	摘要
1．事業費	3,320,000	4,150,000	
1）会報発行	1,600,000	2,200,000	年１回発行予定
ア．印刷費	1,000,000	1,150,000	
イ．郵送費	600,000	1,050,000	
2）会員活動援助費	550,000	600,000	親睦会、交流会等の補助、岩手大学70周年事業参加補助他
3）卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	40期分積立
4）支部援助費	70,000	150,000	
5）文化事業補助	150,000	250,000	進路選択セミナー、就職ガイダンス等の補助
6）寄附金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄付
7）同窓会連合負担金	300,000	300,000	年間会費
8）諸費	50,000	50,000	慶弔費等
2．会議費	500,000	600,000	
1）評議員会会議費	400,000	500,000	評議員会諸経費
2）諸会議費	100,000	100,000	
3．事務費	250,000	250,000	事務用品、通信費、データ管理・HP維持費等
4．特別積立金	-	-	
5．雑費	100,000	100,000	事務謝金
6．学部設立50周年記念積立	-	-	
7．同窓会設立40周年記念積立	-	-	
8．予備費	597,580	83,075	繰越金を計上
合計	4,767,580	5,183,075	

特別会計

<収入の部>　（単位　円）

項目	予算額	前年度予算額	摘要
前年度繰越金	42,690,420	42,586,807	
新規積立金	100,000	100,000	卒業記念品贈呈費
利息	3,580	3,604	
合計	42,794,000	42,690,411	

<支出の部>

項目	予算額	前年度予算額	摘要
1．一般会計へ繰出	-	-	
2．積立金	42,794,000	42,690,411	
1）特別積立金	27,096,265	27,093,995	27,093,995+2,270（利息）
2）卒業記念積立	4,274,635	4,174,276	4,174,285+350（利息）+100,000（新規積立額）
3）学部設立50周年記念積立	7,401,697	7,401,077	7,401,007+620（利息）
4）同窓会設立40周年記念積立	4,021,403	4,021,063	4,021,063+340（利息）
合計	42,794,000	42,690,411	

七友会設立40周年記念同窓会

七友会設立40周年記念同窓会に向けて実行委員会が始動しました

七友会は、1981年３月の設立以来、2021年に設立40周年を迎えます。1981年３月卒業から2019年３月卒業までの同窓生は、学部の卒業生が8,397人を数え、教育界、経済界はじめ各界をリードし活躍する人材を配しています。

40周年の節目に当たり、同窓生が一堂に会し、旧交を温めるため、記念の同窓会を開催いたします。また、七友会のこれまでの足跡をたどり、活動を振り返りながら、今後の活動についても広く会員の皆様のご意見を伺いたいと考えています。

その準備段階として、遠藤七友会会長を中心に地元盛岡周辺在住のメンバーを中心に実行委員会を立ち上げ、12月13日から活動を開始しました。実行委員会の進行状況は、facebookに随時掲載いたします。facebookに登録済の方は、是非、「七友会 ―岩手大学人文社会科学部同窓会―」を検索し、参加リクエストしてください。ご招待いたします。

なお、実行員会メンバーは、10数名を予定していますが、できるだけ多くの卒業期への呼びかけを効果的に行いたいと考えています。そのために、広く実行委員を引き受けていただける方を募集しています。お手伝いいただける方は、facebook「七友会―岩手大学人文社会科学部同窓会―」までご連絡ください。

七友会設立40周年記念同窓会（予定）

日　時／2021年（令和３年）７月３日（土）
14時から
会　場／ホテルメトロポリタンニューウイング
（盛岡市）
参加者／七友会会員及び教員　100人

昭和から平成のキャンパスライフあれこれ

母（1981年昭和56年卒業）と娘（2019年平成最後の年、令和始まりの年　卒業）の会話から～

中央食堂の洋風定食、よく食べたなぁ。

何、それ？今は、中食もカフェテリアだよ。

当時は、カフェテリアは完成したばかりの農学部食堂だけだから、おしゃれだと思ったよ。

中央食堂の２階に喫茶店があったんだけど、上田通りもたくさん喫茶店があったよ。初めてウインナーコーヒーを飲んではまったなぁ。

上田は、昔からの喫茶店は少なくなったけど、おしゃれなコーヒー屋さんがあるよ。

コンパは、大体上田通りの会場か、友達の部屋が多かったかな。誰かがギター弾いてみんなで歌ったりしたよ。

宅飲みもするけど大通りや菜園が多い。カラオケにはよく行くよ。

授業が休講になると、ラッキーって感じで喫茶店で時間つぶししたな。友達と話し込んで授業さぼったこともあったよ。

きっちり15コマ講義があるから、休講になっても振替があるよ。

バイトと授業がかち合ったりして、バイト優先させたこともある。

バイトも自車校って自動車学校ね、も忙しいけど勉強も忙しいからちゃんと講義には出ているよ。

話を聞いていたら、イマドキの学生のほうがまじめに勉強していそうだね。じゃ、2021年７月３日、土曜日の40周年記念同窓会のこと、友達にも拡散してね。

了解！

バブルの時代もあったけど、リーマンショックも乗り越えて、卒論、就活に頑張ったあの日々。
学生時代の一番の思い出は…
懐かしい盛岡で、ご参加をお待ちしています。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、４割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓生の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに下記連絡先情報により七友会へお知らせ下さい。

連絡先情報

ふりがな 氏名　（男・女）	卒業　期（SH　年　月卒） 専攻　（コース課程）　研究室ゼミ等	封筒にある整理番号 No.＿＿＿＿＿＿
現住所　〒		
（自宅） TEL FAX	携帯	勤務先名等（可能なかぎり）
E-mail		
家族等連絡先　〒		

人文社会科学部では今年度から学部附属施設として「宮沢賢治いわて学センター」を設置しました

来たる３月21日（土）発足記念シンポジウムが開催されます。

開催日：2020年(令和２年）３月21日（土）
時　間：13：30～17：00（13：00開場）
会　場：岩手大学図書館２階　生涯学習・多目的学習室
入場無料・事前申込不要

第１部：記念講演「賢治と演劇」
○講師
齋藤陽一氏（新潟大学人文学部長）

第２部：シンポジウム「地域と演劇」
○シンポジスト
坂田裕一氏（いわてアートサポートセンター理事長）
齋藤陽一氏（新潟大学人文学部教授/身体表現論）
井上　彰氏（愛媛大学法文学部准教授/英文学）
○司会
小野澤章子氏（岩手大学人文社会科学部准教授/地域社会学）
○全体コーディネート・総合司会
木村直弘氏（岩手大学人文科学部教授）

９月19日（土）岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会が開催されます

「第13回卒業生・修了生と学長との懇談会が、９月19日（土）北海道札幌市のANAクラウンプラザホテル札幌で開催されることになりました。小川次期学長になって初めての懇談会です。北海道内の同窓生を中心にぜひご参加ください。案内は７月中旬頃に道内在住者を中心に郵送される予定です。

訃　報

名誉教授　加藤　宏幸 氏（享年84歳）
令和元年７月29日　ご逝去

【ご経歴】
昭和46年４月　福島大学教育学部助教授
昭和54年10月　岩手大学人文社会科学部教授
平成14年３月　定年退職（岩手大学教授：22年６ケ月）
専　門：フランス文学（特に19・20世紀のフランス文学）
ご出身：福島県
ご冥福をお祈りいたします

編集後記

今回の発行が第49号になりました。

今回から、年１回の発行としますが、内容は全体を見直し、カラー印刷としました。

今年は記録的な暖冬です。皆さんのお手元に七友会だよりが届くころにはサクラサク・・・かもしれません。コロナウイルスの感染拡大が心配です。皆さんご注意ください。

藤原事務長、今回もいろいろとお世話になり、ありがとうございました。